

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	1	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
なかまづくりとかず		15	知・技	10までの数について、1対1対応により集合の要素の個数を比べる方法や数の読み方、書き方、数の構成などを理解し、集合の要素の個数を比べたり、数を正しく数え数字を読んだり書いたり、数の合成、分解をしたりすることができる。
			思・判・表	数のまとまりに着目し、数の大きさの比べ方や数え方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成に着目し、一つの数をほかの2つの数の和や差として捉え言葉や半具体物などを用いて表現したりし
			学び	数の比べ方や数え方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
なんばんめ		3	知・技	数を用いた順序や位置の表し方を理解し、数を用いて順序や位置を表すことができる。
			思・判・表	数を順序や位置を表すものとしてみて、基点に着目して順序や位置を考え、数を用いて順序や位置を表現している。
			学び	数を用いて順序や位置を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
あわせていくつふえるといくつ		9	知・技	合併や増加など、加法が用いられる場合について知り、加法の意味を理解し、和が10以内の加法計算が確実にできる。
			思・判・表	加法の意味に着目し、合併や増加などの場面を加法の式に表し、その計算の仕方を1位数の構成や操作などを用いて考え、表現している。
			学び	加法の意味や加法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
のこりはいくつちがいはいくつ		10	知・技	求残や求補、求差など、減法が用いられる場合について知り、減法の意味を理解し、被減数が10以内の減法計算が確実にできる。
			思・判・表	減法の意味に着目し、求残や求補、求差などの場面を減法の式に表し、その計算の仕方を数の構成や操作などを用いて考え、表現している。
			学び	減法の意味や減法計算の仕方について、数構成や操作などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
どちらがながい		6	知・技	長さについての基礎的な意味や、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、長さについての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、長さを比べることができる。
			思・判・表	身の回りにあるものの長さに着目して、直接比較や間接比較、任意単位による長さの比べ方を考えたり、任意単位により長さを数値で表したりしている。
			学び	身の回りにあるものの長さに関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
わかりやすくせいりしよう		3	知・技	ものの個数を種類ごとに分類整理し、簡単な絵や図を用いて表したり読み取ったりすることができる。
			思・判・表	データの個数に着目し、身の回りの事象について簡単な絵や図を用いて特徴を捉えている。
			学び	簡単な絵や図を用いて、データの個数を表したりその特徴を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
10よりおおきいかず		10	知・技	40までの数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、40までの数を数え数字を読んだり書いたり、20までの数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
			思・判・表	10のまとまりに着目し、40までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、20までの数の繰り上がりや繰り下がりのない加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。
			学び	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
			知・技	何時、何時半の時刻の読み方を理解し、何時、何時半の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

なんじなんじはん	1	思・判・表	短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考え、表現している。
		学び	時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
3つのかずのけいさん	4	知・技	3つの数の加減計算の場面を1つの式に表せることを理解し、その計算が確実にできる。
		思・判・表	2つの数の加法や減法を基にして、3つの数の加減計算の式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考え表現している。
どちらがおおい	5	知・技	3つの数の加減計算について、式の表し方や計算の仕方を、操作や図を用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		思・判・表	体積についての基礎的な意味や、保存性、比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、体積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や間接比較、任意単位による測定などによって、身の回りに入る入れ物に入る水の体積を比べることができる。
たしざん	11	知・技	身の回りに入る入れ物に入る水の体積に着目して、直接比較や間接比較、任意単位による体積の比べ方を考えたり、任意単位により体積を数値で表したりしている。
		学び	身の回りに入る入れ物に入る水の体積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
かたちあそび	5	知・技	1位数どうしの繰り上がりのある加法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。
		思・判・表	10のまとまりに着目し、1位数どうしの加法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。
ひきざん	11	知・技	1位数どうしの加法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		思・判・表	身の回りに入るものの形について、その概形や特徴、機能を捉えたり、構成や分解をしたりするとともに、図形についての豊かな感覚をもっている。
おおい	15	知・技	身の回りに入るものの形に着目し、図形の特徴や機能を捉えたり、構成や分解をしたりして、表現している。
		思・判・表	身の回りに入るものの形について、観察や構成、分解したり、形の特徴や機能を捉えたりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
おおい	11	知・技	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算が、「10といくつ」という数の見方を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできる。
		思・判・表	数の構成に着目し、11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方を、操作や図を用いて考え、表現している。
おおい	15	知・技	11～18から1位数をひく繰り下がりのある減法計算の仕方について、「10といくつ」という数の見方や操作、図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		思・判・表	2位数や簡単な3位数について、個数の数え方や数の読み方、書き方、数の構成や大小などを理解し、120程度までの数を数え数字を読んだり書いたり、2位数の数の構成を加法や減法の式に表すことができる。
おおい	15	知・技	既習の数の表し方の仕組みを基に、120程度までの数の数え方や読み方、書き方を考え、言葉やブロックなどを用いて表現したり、数の構成や既習の計算を活用して、簡単な場合の2位数の加減計算の仕方を考え、言葉やブロックなどで表現したりしている。
		思・判・表	数の構成を活用して数の数え方や加減計算の仕方を考えた過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
どちらがひろい	1	知・技	面積についての基礎的な意味や比較の方法、任意単位による測定の方法を理解し、面積についての基礎的な感覚を身につけ、直接比較や任意単位による測定などによって、身の回りに入るものの面積を比べることができる。
		思・判・表	身の回りに入るものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。
どちらがひろい	1	知・技	身の回りに入るものの面積に関心をもち、比較の方法を工夫した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
		思・判・表	身の回りに入るものの面積に着目して、直接比較や任意単位による面積の比べ方を考えたり、任意単位により面積を数値で表したりしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

なんじなんぷん	3	知・技	何時何分の時刻の読み方を理解し、何時何分の時刻を読んだり、時計で表したりすることができる。
		思・判・表	短針と長針の関係を捉えて、それぞれの針の位置を基に時刻の読み方を考えたり、時計盤の目盛りに着目して長針の読み方を工夫して考えたりして、表現している。
		学び	時刻に関心をもち、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
たしざんとひきざん	6	知・技	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面も加減の式に表せることを理解し、問題を解決することができる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図や式に表して考え、表現している。
		学び	順序数や異種の数量を含む加減の場面、求大や求小の場面を図に表して問題を解決した過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。
かたちづくり	6	知・技	身の回りにあるものの形について、その概形や特徴を捉え、中空のものも中実のものと同じように見られることを理解し、色板や棒を並べていろいろなものの形を構成したり分解したりすることができる。
		思・判・表	身の回りにあるものの形に着目し、図形の特徴を捉えたり、いろいろな形を構成、分解したりして、表現している。
		学び	身の回りにあるものの形について、形の特徴を捉えたり、構成、分解したりした過程や結果を振り返り、そのよさや楽しさを感じながら学ぼうとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	2	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
わかりやすくあらわそう	4		知・技	身の回りにある数量を分類整理し、簡単な表やグラフを用いて表したり読み取ったりすることができる。
			思・判・表	データを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察している。
			学び	身の回りの事象に関心をもち、表やグラフを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
たし算のしかたを考えよう	9		知・技	2位数の加法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。
			思・判・表	数の仕組みに着目し、2位数の加法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
			学び	2位数の加法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
ひき算のしかたを考えよう	9		知・技	2位数の減法計算が、1位数などについての基本的な計算を基にしてできることを理解し、その計算が確実にできるとともに、その筆算の仕方について理解している。
			思・判・表	数の仕組みに着目し、2位数の減法計算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
			学び	2位数の減法の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
長さをはかってあらわそう	10		知・技	長さについて単位と測定の意味や、単位の関係、物差しを目盛りの仕組みを理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定したり、指定された長さの直線をひいたりすることができる。
			思・判・表	普遍単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、目的に応じた単位で長さを的確に表現したり、比べたりしている。
			学び	身の回りにあるものの長さに関心をもち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
100より大きい数をしらべよう	13		知・技	3位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。
			思・判・表	10や100のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。
			学び	10や100のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
水のかさをはかってあらわそう	9		知・技	体積について単位と測定の意味や、単位の関係を理解し、およその見当を付け体積の単位を適切に選択して身の回りにある入れ物に入る水の体積を測定することができる。
			思・判・表	長さの学習を基に、普遍単位の必要性に気づき、身の回りにある入れ物の特徴をその中に入る水の体積に着目して捉え、目的に応じた単位で体積を的確に表現したり、比べたりしている。
			学び	身の回りにある入れ物に入る水の体積に関心をもち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
時計を生活に生かそう	3		知・技	時刻と時間の区別、及び日、時、分の単位やそれらの関係を理解し、時刻や時間を求めたり、表したりすることができる。
			思・判・表	時間の単位に着目し、図などを用いて時刻と時間の求め方を考え、説明している。
			学び	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
			知・技	加法の結合法則や（ ）の使い方を理解するとともに、簡単な加減法の暗算ができる。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

計算のしかたをくふうしよう	6	思・判・表	()の中を1つの数とみて、式の意味を考え表現したり場面を式に表したりするとともに、3口の数の加法計算について、数量の関係に着目し、結合法則などを基に工夫して計算している。
		学び	加減の計算方法について、計算法則、数の見方や構成を活用して考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
ひっ算のしかたをくふうしよう	11	知・技	2位数の加法及びその逆の減法の計算について、1位数などの基本的な計算を基にできることを知り、それらの筆算の仕方について理解し、筆算の手順を基に確実に計算することができる。
		思・判・表	既習の筆算を基に、数の仕組みに着目し、2位数の加法及びその逆の減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考え表現している。
		学び	2, 3位数の加減の筆算の仕方について、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
さんかくやしかくの形をしらべよう	11	知・技	三角形や四角形、直角、長方形、正方形、直角三角形の意味や性質を理解するとともに、紙を折って直角を作ったり、長方形や正方形などを作図したりすることができる。
		思・判・表	辺や頂点など図形を構成する要素に着目し、三角形や四角形、長方形や正方形などの特徴を見いだし、説明している。
		学び	身の回りにあるものの形の中から、三角形や四角形、長方形や正方形などを見つけ図形としてとらえ、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
新しい計算を考えよう (かけ算1)	23	知・技	乗法が用いられる場合や乗法九九について知り、乗法の意味や乗法に関して成り立つ性質(乗数が1ずつ増えるときの積の増え方や交換法則)を理解し、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(5, 2, 3, 4の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、累加の考えや乗数と積の関係などを基に、乗法九九の構成の仕方を考え表現している。
		学び	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や乗法のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
九九をつくろう (かけ算2)	19	知・技	乗法九九について知り、乗法に関して成り立つ性質の理解を確実にするとともに、乗法が用いられる場面を絵や図、言葉、式で表したり、乗法九九(6, 7, 8, 9, 1の段)を構成し、確実に唱えたりすることができる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、乗法について成り立つ性質やきまりを用いて、乗法九九の構成の仕方を考え工夫し、表現している。
		学び	数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理や、乗法について成り立つ性質やきまりを用いることのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
1000より大きい数をしらべよう	12	知・技	4位数について、数の読み方や表し方、数の構成や大小、順序、数の相対的な大きさを理解し、数を書いたり読んだり、数や式の大小・相等関係を、不等号や等号を用いて表したりすることができる。
		思・判・表	数のまとまりに着目し、十進位取り記数法の仕組みを考え表現したり、数を相対的な大きさからとらえたりしている。
		学び	数のまとまりに着目して数を調べた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
長い長さははかってあらわそう	7	知・技	長さについて単位と測定の意味や、単位の間隔を理解し、およその見当を付け長さの単位を適切に選択して身の回りのものの長さを測定し表現することができる。
		思・判・表	上位単位の必要性に気づき、身の回りのものの特徴を長さに着目して捉え、既習の学習を基に長いものの長さを表す単位について考えている。
		学び	身の回りにあるものの長さに関心をもち、量の感覚を身に付け、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
図をつかって考えよう	6	知・技	加法と減法の相互関係について理解し、加法と減法の相互関係を表した図を用いて、図や式に表し、問題を解決することができる。
		思・判・表	数量の関係に着目し、場面を図に表して構造をとらえ、式について考え表現している。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	加法と減法の相互関係に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付 き今後の生活や学習に活用しようとしている。
分けた大きさのあらわし方をし らべよう	6	知・技	具体物を操作することなどによって、 $\frac{1}{2}$ や $\frac{1}{3}$ などの簡単な分数について知り、いくつかに分けた大きさ の1つ分をつくったり、それらの大きさを分数を使って表現したりすることができる。
		思・判・表	分数について、元の大きさと分けた大きさの関係や、分けた大きさはすべて等しいことに着目して考えている。
		学び	具体物や図などを用いて数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気付き今後の生活 や学習に活用しようとしている。
はこの形をしらべよう	6	知・技	箱の形をしたものの構成要素について理解し、正方形や長方形を組み合わせたり、ひごなどを用いたりし て、箱の形を構成することができる。
		思・判・表	頂点、辺、面などの図形を構成する要素に着目し、箱の形の特徴を見だし、説明している。
		学び	身の回りにあるものの形の中から、箱の形をしたものを見つけ、数学的に表現・処理したことを振り返り、 数理的な処理のよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	3	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
九九を見なおそう	10	知・技	乗法に関して成り立つ性質やきまりを理解し、それらを活用して被乗数や乗数が0や10の乗法計算をすることができる。	
		思・判・表	乗法に関して成り立つ性質やきまりに着目し、九九の範囲を超える乗法の計算方法を、図や式を用いて考え、表現している。	
		学び	九九の範囲を超える乗法の計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
時こくと時間のもとのめ方を考えよう	5	知・技	秒について知り、他の時間の単位との関係を理解するとともに、時刻や時間を求めることができる。	
		思・判・表	時間の単位に着目し、時間を既習の量と統合的に捉えるとともに、図などを用いて時刻や時間の求め方を考え、説明している。	
		学び	時刻や時間に関心をもち、数学的に表現・処理したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
同じ数ずつ分けるときの計算を考えよう	10	知・技	除法が用いられる場合や除法と乗法などとの関係について知り、除法の意味について理解するとともに、除法計算をすることができる。	
		思・判・表	数量の關係に着目し、等分除と包含除を除法として統合して捉えるとともに、具体物や図、式を用いて計算の仕方を考え表現している。	
		学び	除法の意味や計算方法について、式や図などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や今後の学習に活用しようとしている。	
大きい数の筆算を考えよう	9	知・技	3～4位数の加減計算は、2位数などの基本的な計算を基にしてできていることを理解し、それらの計算をすることができる。	
		思・判・表	数の見方に着目し、2～3位数の場合の筆算の仕方を活用して3～4位数の加減法の筆算の仕方を図や式などを用いて考え表現し、筆算の仕方を一般化してまとめている。	
		学び	3～4位数の加減法の筆算の仕方を、図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき生活や学習に活用しようとしている。	
長い長さをはかって表そう	8	知・技	長さの単位（キロメートル(km)）や測定の意味を理解し、長さについての豊かな感覚をもつとともに、それらを活用して適切に長さを単位で表したりおよその見当をつけ適切な単位や計器を選択して測定したりすることができる。	
		思・判・表	身の回りのものの特徴や任意の単位に着目し、測定の方法や単位の関係について説明している。	
		学び	長さについての単位や測定を用いて身の回りのものの長さを測ったり、既習の単位との関係について考えたりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
数をよく見て暗算で計算しよう	4	知・技	被減数が100の減法の暗算や2位数同士の加減法を暗算で計算することができる。	
		思・判・表	数の構成や加減法に関して成り立つ性質に着目して、暗算による計算の仕方を工夫して考え、説明している。	
		学び	2位数同士の加減法を暗算で計算したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	
わり算を考えよう	8	知・技	わり切れない場合の除法の計算や余りと除数の大小関係について理解し、それらを活用して数量の関係を捉えることができる。	
		思・判・表	数量の關係に着目し、わり切れる場合とわり切れない場合の除法を統合して捉え、除法の意味や計算に成り立つ性質について考え、説明している。	
		学び	日常生活の問題を解決した過程や得られた結果を吟味したことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。	

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

10000より大きい数を調べよう	11	知・技	万の単位や1億までの整数を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍、100倍、1000倍、1/10にした数や数の相対的な大きさを不等号を用いて表す方法を理解している。
		思・判・表	整数の仕組みや表し方に着目し、万の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数の大小の比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。
		学び	1億までの数の仕組みや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
大きい数のかけ算のしかたを考えよう	12	知・技	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を理解し、それらを活用して計算することができる。
		思・判・表	数の構成や既習の乗法計算に着目し、2～3位数×1位数の筆算について考え、説明している。
		学び	2～3位数×1位数の筆算について、乗法九九などの基本的な計算を基に考えたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
わり算や分数を考えよう	5	知・技	簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について説明している。
		思・判・表	分数で表されている場面を適切に捉え、除法の計算を用いて答えを求めることができる。
			既習の計算の仕方やテープ図などを用いて、数の構成に着目して簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方について考え、説明している。
		学び	等分することや分数の意味に着目して、分数で表された数を除法を用いて計算することを考え、説明している。
まるい形を調べよう	9	知・技	簡単な場合の2位数÷1位数の計算の仕方を、既習の除法計算などを基に考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思・判・表	分数と除法の関係やもとの数と分数の関係を考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		学び	円や球を構成する要素に着目し、構成の仕方について考えたり、身の回りのものに図形の性質がどのように活用されているかを考えたり、説明している。
数の表し方やしくみを調べよう	13	知・技	円や既習の図形の作図を基に模様をかくなどの活動を通して、身の回りから円や球を見つけたり、図形のもつ美しさに関心をもったりしたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思・判・表	端数部分の大きさを表す際に小数を用いることや小数の仕組みについて理解し、それらを活用して1/10の位までの小数の加減の計算をすることができる。
		学び	数の表現や数のまとまりに着目し、小数は整数の十進位取り記数法を拡張したものと捉え、小数を含む数の大小関係や加減の計算方法について考え、説明している。
重さをはかって表そう	10	知・技	小数の表し方や意味や加減計算の仕方について、図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思・判・表	重さについて、単位や単位間の関係を理解し、およその見当をつけ、適切な計器を選んで測定することができる。
		学び	身の回りのものの重さやその単位に着目し、量感や単位の間隔を統合的に考え、説明している。
分数を使った大きさの表し方を調べよう	11	知・技	身の回りにあるものの重さやそれらを数値化することのよさ、普遍単位の必要性を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
		思・判・表	端数部分を表す数や大きさを表す数としての分数やその表し方を理解し、それらを活用して分数の加法及び減法の計算や1/10の位までの小数と分母が10の分数の関係について理解している。
		学び	分数は単位量をn等分した1こ分を任意の単位としていることに着目して、数の大きさを比べたり、計算したりする方法を考え、説明している。
		学び	分数を用いることで、整数では表すことのできない等分してできる部分の大きさや端数部分の大きさを表せるようになることを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

□を使って場면을式に表そう	5	知・技	数量の関係を表す式に未知の数量を表す□などの記号を用いることを理解し、それらを活用して問題場면을式や図に表したり、式の意味を読み取って問題場面を考え、□に当てはまる数の調べ方を理解したりしてい
		思・判・表	数量の関係や問題場面に着目し、数量の関係を図や式を用いて簡潔に表したり、式と図を関連付けて読み取ったりして未知の数量を表す□を用いた式について考え、説明している。
		学び	未知の数量を□などの記号を用いて表すことで、問題場면을式や図に表せることのよさを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
かけ算の筆算を考えよう	11	知・技	2～3位数×1位数の乗法の筆算の仕方を利用して、2～3位数×2位数の乗法の筆算を計算することができる。
		思・判・表	数の構成や既習の2～3位数×1位数の筆算の仕方に着目し、2～3位数×2位数の筆算について考え、説明している。
		学び	2～3位数×2位数の筆算について、既習の筆算の計算方法を基に考えられたことを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
倍の計算	3	知・技	倍の意味を理解し、問題場面に応じてテープ図や□を用いた式などを用いながら、答えを求めることができる。
		思・判・表	基準量や数量の関係に着目し、倍の意味や計算方法について考え、説明している。
		学び	基準量や倍について考えた過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
三角形を調べよう	9	知・技	作図などの活動を通して、二等辺三角形や正三角形、角の大きさについて知り、それらを活用して基本的な図形の性質や構成する要素を理解している。
		思・判・表	図形を構成する要素に着目し、図形の構成の仕方を考えるとともに、基本的な図形の性質について考え、説明している。
		学び	辺の長さや角の大きさなどの図形を構成する要素に着目し、学習を通して身の回りのものの形を図形として捉えたことを振り返り、図形の敷き詰めなどの作図に関心を持ったり、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
わかりやすく整理して表そう	11	知・技	日時や場所などの観点別にデータを分類整理することを理解し、それらを活用して表やグラフから項目間の関係や集団のもつ全体的な特徴を読み取ったりすることができる。
		思・判・表	目的に応じたデータを整理する観点に着目し、身の回りの事象について表やグラフを用いて考察したり、見出したことを分かりやすく表したりすることについて考え、説明している。
		学び	データを分類整理したり、それらをもとに身の回りの事情について考察したりした過程を振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。
そろばん	2	知・技	そろばんを用いた加減計算の仕方を理解し、それらを活用して簡単な加減計算をすることができる。
		思・判・表	そろばんの仕組みや十進位取り記数法の仕組みに着目し、数の入れ方や払い方を考え、説明している。
		学び	そろばんの仕組みと十進数の仕組みを振り返り、数理的な処理のよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	4	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
1億より大きい数を調べよう		8	知・技	億や兆の単位を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍や1/10にした数、被乗数と乗数が3位数の整数の乗法計算をすることができる。
			思・判・表	整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数同士の大きさの比べ方や表し方を統合的に捉え説明している。
			学び	億や兆の仕組みや表し方について、統合的に捉えた過程や結果を振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
グラフを使って調べよう		10	知・技	折れ線グラフの特徴や用い方、資料を二次元表による分類整理をすることを理解し、それらを活用して資料を折れ線グラフに表したり、それを読み取ったりすることができる。
			思・判・表	資料を目的に応じて分類整理し、それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択して判断し、結論について考え、説明している。
			学び	問題解決の過程や資料を分類整理した結果、折れ線グラフを活用した過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
わり算のしかたを考えよう		12	知・技	既習の乗法九九を1回用いて商を求める計算及び簡単な2位数を1位数で割る計算の方法を活用し、2～3位数÷1位数の計算をすることができる。
			思・判・表	数量の関係に着目し、計算の仕方を考えたり、除法に関して成り立つ性質を見出したりしたことについて考え、説明している。
			学び	2～3位数÷1位数の除法の計算方法を、既習の基本的な計算を基に考えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
角の大きさの表し方を調べよう		10	知・技	角の大きさを回転の大きさとして捉えることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位（度（°））や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角を作ったりすることができる。
			思・判・表	図形の角の大きさに着目し、角の大きさについての表現や三角形などの図形を考察し、説明している。
			学び	分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
小数のしくみを調べよう		15	知・技	1/100の位、1/1000の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。
			思・判・表	1/10未満の数の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の相対的な大きさについて考え、説明している。
			学び	1/10未満の小数の表し方及び加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさや整数や小数の仕組みと関連づけて考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
そろばん		2	知・技	そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。
			思・判・表	十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。
			学び	そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを学習に活用しようとしていたりしている。
			知・技	既習の除法の筆算の仕方や数のまとまりを用いて2～3位数を2位数でわる除法の計算を求めることができる。
			思・判・表	数量の関係に着目して、2～3位数を2位数でわる除法の計算の仕方を考え、説明している。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

わり算のしかたを考えよう	15	学び	2～3位数÷2位数の除法の計算方法を、既習の除法の計算を基に考えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
倍の見方	5	知・技	簡単な場合についての割合を活用して、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べることができる。
		思・判・表	日常の事象における数量の關係に着目し、ある二つの数量の關係と別の二つの数量の關係について割合を用いて考え、説明している。
およその数の使い方と表し方を調べよう	10	学び	簡単な場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
		知・技	概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。
計算のやくそくを調べよう	9	思・判・表	日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数进行处理するよさについて考え、説明している。
		学び	日常の事象において、目的に応じて数进行处理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
		知・技	四則の混合した式や（ ）を用いた式、公式について理解し、それらを活用して（■や▲などの）記号で数量の関係を表すことができる。
四角形の特ちょうを調べよう	14	思・判・表	問題場面の数量の關係に着目し、簡潔に表現したり一般的に表現したりすることについて考え、説明している。
		学び	（ ）を用いて1つの式に表すと数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
		知・技	直線の平行や垂直の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形について理解している。
分数をくわしく調べよう	11	思・判・表	辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見出し表現したり、四角形の対角線の特徴を統合的に考えたり、説明している。
		学び	身の回りから直線の平行や垂直の関係を、様々な四角形を見つけることで学習内容を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
		知・技	分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりすることができる。
どのように変わるか調べよう	5	思・判・表	数を構成する単位分数に着目し、同値分数や分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。
		学び	1より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことのよさや分数を単位分数の個数で捉え、加法及び減法の計算方法を考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
		知・技	伴って変わる二つの量の関係を、表を用いて変化や対応の特徴を調べたり、□や○などを用いて式に表したりすることができる。
広さの表し方を考えよう	12	思・判・表	伴って変わる二つの量の關係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。
		学び	主体的に問題解決に取り組むとともに、関係を表で調べることのよさや関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることのよさを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
		知・技	面積の単位について理解し、それらを活用して正方形や長方形の面積を求められることやその求め方、面積の単位間の関係を理解するとともに、面積についての量感を身に付けている。
		思・判・表	量や乗法の学習を基に、単位面積や図形の構成要素に着目して、単位面積の何こ分かで数値化することや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え、説明している。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	面積を数値化して表すことのよさや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
小数のかけ算とわり算を考えよう	16	知・技	既習の乗除の計算の仕方を基に、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を理解し、計算をすることができる。
		思・判・表	位に着目し、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を考え、説明している。
		学び	小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で商が小数になる場合の計算の仕方を、既習の乗除の計算の仕方を基に考えた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
箱の形の特ちょうを調べよう	10	知・技	直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取図をかいたり、位置を表したりすることができる。
		思・判・表	立体図形の構成要素や位置関係に着目して、直方体や立方体の特徴や性質を考え表現したり、直方体に関連づけて、直線や平面の垂直や平行の関係、ものの位置の表し方を捉えたり説明している。
		学び	図形について、構成する要素や位置関係に着目して捉えたことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	5	
単元名		時数	単元のまとまりの評価規準	
整数と小数のしくみをまとめよう		5	知・技	整数及び小数について、10倍、100倍、1000倍（ $1/10$ 、 $1/100$ 、 $1/1000$ ）したときの位や小数点の移動の仕方を理解し、それらの大きさの数をつくることができる。
			思・判・表	数の表し方に着目し、整数及び小数について十進数として統合的にとらえるとともに、十進位取り記数法をもとに図や式を用いて計算の仕方を考え表現している。
			学び	整数及び小数の十進数としての特徴について統合的に捉えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
直方体や立方体のかさの表し方を考えよう		8	知・技	体積の単位を知り、立方体及び直方体の体積の計算による求め方について理解するとともに、体積を求めることができる。
			思・判・表	体積の単位や立体を構成する要素に着目し、立体の体積の求め方を考えるとともに、体積の単位とこれまでに学習した単位との関係を統合的に捉え、説明している。
			学び	立体の体積の単位や体積の求め方について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
変わり方を調べよう(比例)		4	知・技	簡単な場合について比例の関係があることを知り、表を用いて比例の関係を見いだすことができる。
			思・判・表	伴って変わる2つの数量の関係に着目し、表を用いて比例の関係を捉え、説明している。
			学び	簡単な場合の比例の関係について、表を用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
かけ算の世界を広げよう(小数のかけ算)		9	知・技	乗数が小数の場合の乗法の意味や、小数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、乗数が小数の場合の乗法の計算ができる。
			思・判・表	乗法の意味に着目し、乗法の性質を活用して、乗数が小数の場合の乗法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
			学び	乗数が小数の場合の乗法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
わり算の世界を広げよう(小数のわり算)		9	知・技	除数が小数の場合の除法の意味について理解するとともに、除数が小数の場合の除法の計算ができる。
			思・判・表	除法の意味に着目し、除法の性質を活用して、除数が小数の場合の除法の計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
			学び	除数が小数の場合の除法の意味を捉え直したり、その計算方法について図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
小数の倍		5	知・技	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について理解し、説明している。
			思・判・表	2量の関係に着目し、基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について図や式などを用いて考え表現している。
			学び	基準量や比較量が小数の場合の倍の意味について、整数倍の意味と統合的に捉えたり、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
形も大きさも同じ図形を調べよう		8	知・技	図形の形や大きさが決まる要素や図形の合同について理解するとともに、合同な図形を弁別したりかいたりすることができる。
			思・判・表	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し、合同な図形の性質を見だし、その性質を筋道を立てて説明している。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

		学び	合同という観点で既習の図形の性質を見直したり，対角線に着目して合同な図形を捉えたりしたことを振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
図形の角を調べよう	6	知・技	三角形の内角の和について理解し，それを基に四角形や他の多角形の内角の和を求めることができる。
		思・判・表	図形の角に着目し，三角形の内角の和についての性質を見だし，それを基に四角形や他の多角形の内角の和について演繹的に考え，説明している。
		学び	三角形の内角の和が 180° であることに基に，四角形や他の多角形の性質を考えた過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
整数の性質を調べよう	12	知・技	偶数，奇数，及び倍数，約数について知り，それらの意味について理解するとともに，偶数と奇数を類別したり倍数と約数を求めたりすることができる。
		思・判・表	乗法及び除法に着目し，整数を偶数と奇数の二つの集合に類別して捉えたり，倍数と約数の集合を捉えたりするとともに，整数の性質を図や式を用いて考え表現している。
		学び	整数の性質について，観点を決めて類別したり，倍数と約数の集合を捉えたりした過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
分数と小数、整数の関係を調べよう	6	知・技	整数の除法の結果は分数を用いると1つの数で表せることや，分数と小数，整数の関係を理解するとともに， $a \div b$ を a/b ， a/b を $a \div b$ とみたり，分数を小数で表したり，小数，整数を分数の形になおしたりすることができる。
		思・判・表	分数の表現に着目し，分数を整数の除法の結果として捉えたり，分数と小数，整数の関係を捉えたりするとともに，それらを分数や式を用いて考え表現している。
		学び	整数の除法の結果を分数で表したり，分数と小数，整数の関係を考えたりした過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
分数のたし算、ひき算を広げよう	10	知・技	分数の性質や通分，約分の意味，異分母の分数の加法及び減法の意味について理解するとともに，通分や約分，異分母の分数の加減計算ができる。
		思・判・表	単位分数に着目して，分数の相当及び大小関係や，異分母の分数の加減計算の仕方を図や式などを用いて考え表現している。
		学び	通分や約分の意味や，異分母の分数の加法及び減法の計算の仕方を，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，学習したことを今後の学習に活用しようとしたりしている。
ならした大きさを考えよう	5	知・技	平均の意味について理解するとともに，測定した結果の平均を求めることができる。
		思・判・表	概括的に捉えることに着目して，測定した結果を平均する方法を図や式などを用いて考え表現している。
		学び	平均の意味や，測定した結果を平均する方法を，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
比べ方を考えよう (単位量あたりの大きさ)	10	知・技	異種の2量の割合としてとらえられる数量について，速さや単位量当たりの大きさの意味及び表し方について理解し，速さや単位量当たりの大きさを求めたり，比べたりすることができる。
		思・判・表	異種の2量の割合としてとらえられる数量の関係に着目し，目的に応じて大きさを比べたり表現したりする方法を図や式などを用いて考え表現している。
		学び	速さや単位量当たりの大きさの意味及び表し方などを，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。
		知・技	平行四辺形，三角形，台形，ひし形などの面積の求め方を理解し，公式を用いて面積を求めることができる。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

面積の求め方を考えよう	11	思・判・表	平行四辺形，三角形，台形，ひし形などの構成要素や性質に着目し，既習の面積の求め方を基にして，図や式を用いて面積の求め方を考え，表現している。
		学び	平行四辺形，三角形，台形，ひし形などの面積を，図や式などの数学的表現を用いて考えた過程を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
比べ方を考えよう (割合)	9	知・技	2つの数量の関係について，割合を用いた比べ方や百分率の表し方などを理解し，割合を用いて比べたり，割合や百分率を求めたりすることができる。
		思・判・表	2つの数量の関係に着目し，倍の意味を基に，割合を用いた比べ方や表し方を図や式などを用いて考え表現している。
		学び	2つの数量の関係の比べ方や表し方などを，図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
割合をグラフに表して調べよう	8	知・技	円グラフや帯グラフの特徴とそれらの用い方や，データの収集や適切な手法の選択などを理解し，統計的な問題解決をすることができる。
		思・判・表	目的に応じてデータを集めて分類整理し，データの特徴や傾向に着目し，問題を解決するために適切なグラフを選択して判断し，その結論について多面的に捉え考察している。
		学び	統計的な問題解決の方法について，数学的に表現・処理した過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
変わり方を調べよう(変わり方調べ)	1	知・技	伴って変わる2つの数量について，表や式，図を用いて変化や対応の特徴を調べ，式に表すことができる。
		思・判・表	伴って変わる2つの数量の関係に着目し，表や式，図を用いてその関係を説明している。
		学び	伴って変わる2つの数量の関係について，表や式，図を用いて考えた過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
多角形と円をくわしく調べよう	9	知・技	正多角形の性質や円周率の意味を理解し，円を使って正多角形をかいたり，円周率を使って直径や円周の長さを求めたりすることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素や図形間の関係に着目し，正多角形の性質を見いだしたり，円を使った正多角形のかき方を考えたり，円周率が一定であることを捉えたりして，説明している。
		学び	円と関連させて正多角形の性質やかき方を考えたり，円周率について帰納的に考えたりした過程を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
立体をくわしくしらべよう	7	知・技	角柱，円柱の意味や性質について理解し，角柱，円柱の展開図をかいて構成することができる。
		思・判・表	図形を構成する要素に着目し，角柱，円柱の構成要素やそれらの位置関係の性質を見だし，その性質を基に既習の図形を捉え直し，説明している。
		学び	既習の図形を角柱として捉え直したり，角柱，円柱の性質を考察したりした過程や結果を振り返り，多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

教科	算数	学年	6		
単元名			時数	単元のまとまりの評価規準	
つり合いのとれた図形を調べよう(対称な図形)	12	知・技	線対称、点対称な図形の意味や性質について理解し、線対称、点対称な図形をかくことができる。		
		思・判・表	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、対称という観点で既習の図形を見直しその性質を捉えて説明し、図形に対する見方を深めている。		
		学び	対称な図形について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
数量やその関係を式に表そう	5	知・技	数量の関係を言葉や□、○などの代わりに、文字を用いて式に表すことを理解し、数量の関係を文字を用いて式に表したり、式から具体的な場面に表したり、文字に数を当てはめて調べたりすることができる。		
		思・判・表	文字にいろいろな数を当てはめられることを基に、数量の関係を文字を用いた式で表すことの簡潔さや一般性について考えている。		
		学び	数量の関係を表す式について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
分数のかけ算を考えよう	13	知・技	分数の乗法の意味や、分数の乗法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の乗法の計算ができる。		
		思・判・表	乗数が分数の場合の乗法計算の仕方について、乗法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて表現している。		
		学び	乗数が分数の場合の乗法の意味を捉え直したことや、その計算方法について乗法の性質や図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
分数のわり算を考えよう	7	知・技	分数の除法の意味や、分数の除法についても整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを理解するとともに、分数の除法の計算ができる。		
		思・判・表	除数が分数の場合の除法計算の仕方について、除法の性質や比例の考えを基に考え、数直線や式などを用いて表現している。		
		学び	除数が分数の場合の除法の意味を捉え直したことや、その計算方法について除法の性質や図や式などを用いて考えた過程や結果を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
分数の倍	3	知・技	基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について理解し、説明している。		
		思・判・表	2量の関係に着目し、基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について図や式などを用いて考え表現している。		
		学び	基準量や比較量が分数の場合の倍の意味について、整数倍や小数倍の意味と統合的に捉えたり、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
割合の表し方を調べよう(比)	8	知・技	比の意味や表し方、比の相等の意味を理解し、2つの数量の関係を調べて比で表したり、等しい比をつくったりすることができる。		
		思・判・表	日常の事象における数量の関係に着目し、比を用いた関係の比べ方を既習の割合と関連づけて統合的にとらえ、割合の適用場面で考え方を工夫している。		
		学び	日常の事象を目的に応じて比で捉えたことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。		
形が同じで大きさがちがう図形を調べよう	8	知・技	拡大図、縮図の意味や性質を理解し、対応する辺の長さや角の大きさを求めたり、拡大図、縮図をかくことができる。		
		思・判・表	図形を構成する要素及び図形間の関係に着目し、合同の意味や比の考えを基に、拡大図、縮図の意味や性質、作図の仕方について考え説明し、図形に対する見方を深めている。		

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

調べよう		学び	既習の図形を捉え直したことや数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
円の面積の求め方を考えよう	6	知・技	円の面積について、求め方や計算で求められることを理解し、円の面積を求める公式を用いて円などの面積を求めることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素などに着目し、円などの面積の求め方を図や式を用いて考え、説明している。
		学び	円の面積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
角柱と円柱の体積の求め方を考えよう	5	知・技	角柱や円柱の体積は底面積×高さにまとめられることを理解し、角柱や円柱の体積を公式を用いて求めることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素に着目し、角柱や円柱の体積の求め方について、直方体の体積の求め方から類推し、図や式を用いて考え、説明している。
		学び	角柱や円柱の体積の求め方を簡潔かつ的確な表現として公式として導いた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
およその面積と体積を求めよう	5	知・技	身の回りにあるものの形について、その概形を捉えることで、およその面積や体積を求められることを理解し、面積や体積を求めることができる。
		思・判・表	図形を構成する要素や性質に着目し、身の回りにあるものの形について、概形を捉えて、およその面積や体積の求め方を筋道立てて考えている。
		学び	既習の面積や体積の学習に基づき概則などを用いて目的に応じて能率よく測定した過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
比例の関係をくわしく調べよう	15	知・技	比例や反比例の意味や性質、表やグラフの特徴について理解し、比例や反比例の関係にある2つの数量の関係を表や式、グラフに表したり、比例の関係をj用いて問題解決したりすることができる。
		思・判・表	伴って変わる2つの数量を見いだして、それらの関係に着目し、目的に応じて表や式、グラフを用いてそれらの関係を表現して変化や対応の特徴を見いだして問題解決に活用している。
		学び	数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
順序よく整理して調べよう(並べ方と組み合わせ方)	5	知・技	順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように調べるには、ある観点に着目したり、図や表などにかき表したりするとよいことを理解している。
		思・判・表	事象の特徴に着目し、順列や組み合わせについて、落ちや重なりのないように図や表を適切に用いたり、名称を記号化して端的に表したりして、順序よく筋道立てて考えている。
		学び	順列や組み合わせについて、図や表などを用いて工夫をしながら、落ちや重なりがないように調べた過程を振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。
データの特ちょうを調べて判断しよう	13	知・技	代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グラフ、目的に応じてデータを収集したり適切な手法を選択したりするなど統計的な問題解決の方法について理解している。
		思・判・表	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の結論について判断するとともに、その妥当性について批判的に考察している。
		学び	統計的な問題解決の過程について、数学的に表現・処理したことを振り返り、多面的に捉え検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

令和5年度 評価規準

学校名:江戸川区立篠崎第二小学校

算数の学習をしあげよう	25	知・技	数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを理解するとともに，日常の事象を数理的に処理する技能を身に付けている。
		思・判・表	日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する力，基礎的・基本的な数量や図形の性質などを見いだし統合的・発展的に考察する力，数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したりする力を身に付けている。
		学び	数学的活動の楽しさや数学のよさに気づき，学習を振り返ってよりよく問題解決しようとしたり，算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしたりしている。